

発表者5

ダス ニラズ クマル



●出身・ルーツ

ネパール

●日本に来たのはいつ？

2022年4月1日

●発表者コメント

はじめて日本にきたときのいんしょうをつたえたい。

●推薦者コメント 【柏木実業専門学校 飯塚先生】

日頃の日本語の勉強の成果を十分発揮してください。

スピーチタイトル 「忘れられない日」

みなさんには、忘れられない日がありますか？
 私の忘れられない一日、それは、私が初めて日本に来た日です。
 あれは2022年4月1日。長い一日が始まります。
 私はネパールから成田空港に到着しました。空港でのさまざまなチェックを終えて、おきなわにへ来ていた沖繩の日本語学校の先生と、とうきょうあきはばら東京の秋葉原のホテルに着いたのが午前4時。日本語学校の先生と午前5時に一緒にはねだくこう羽田空港に行く約束をし、疲れた私はホテルの部屋に入ると、ぐっすり寝てしまい、起きたのは午前6時。慌ててホテルのロビーに行きましたが、日本語学校の先生はもういませんでした。
 私は日本語学校の先生の電話番号が書かれた紙をホテルのスタッフからもらい、電話を掛けました。すると日本語学校の先生は、

「あなたは遅刻ですよ。自分で来て下さい」と言われてしまいました。私はどうやって沖繩まで行けばいいのかわからず、もうネパールに帰りたいという思いしか頭にありませんでした。知らない日本という国で、一人きりになってしまい、サポートしてくれる人は誰もいない… そう思いホテルのロビーにいと、心配したホテルのスタッフが、タクシーを呼んでくれました。
 一人で羽田空港に向かった私は、タクシーの運転手さんに日本語で行先を上手に伝えられず、タクシーが着いたところは羽田空港の国際線ターミナルでした。タクシーの運転手さんは、私がネパールに帰ると勘違いしたのです。タクシーの運転手さんに飛行機チケットを見せて、国内線出発ロビーに着いたのが出発5分前。慌てて沖繩行きの飛行機に乗ったのが、出発1分前でした。
 私は予定していた沖繩行きの飛行機に無事

の乗ることができ、ほっとしましたが、タクシー一代に11,070円も使ってしまい、気持ち暗くなり、一人で沖縄まで行くことも不安でいっぱいでした。

飛行機に乗った私は、のどが渇き、水を買おうとしましたが、日本のお金が入った財布は別の荷物の中に入れてしまい、私はネパールのお金しか持っていませんでした。

日本語が上手に話せず、スタッフにネパールのお金を見せると、自分のお金で水を買って私にくれました。やさしい日本人に感謝

し、私は沖縄の日本語学校までたどり着くことができました。日本語学校では、「遅れた学生」と、初日から名前を覚えられてしまいました。

私が初めて日本に来た日、それは、いろいろな人と出会い、日本の厳しさ、やさしさを感じた忘れられない一日でした。いろいろな人に助けられ、今の私がいるのです。私はこの日のことを、これからもずっと忘れずに、日本で自分の目標のためにがんばっていこうと思います。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- ・来日の初日から大変な一日でしたね。日本での厳しさ、やさしさをたくさん経験して、かてとして目標に向かって頑張ってください。
- ・日本に来て沢山大変なこともあり母国へ帰りたいたいと思っても、それでも日本にいてがんばっていることを知り「私もがんばらないとな。」と思いました。
- ・びっくりしました！！大変でしたね～！その日をこれからの人生にプラスに変えて頑張るというクマルさん。その考え方はとても大切です。
- ・とてもわかりやすく、日本での初日の不安な気持ちが伝わりました。
- ・大変な一日でしたね。親切な日本人に会えたのは、クマルさんの人柄だと思います。これからも頑張ってください。
- ・たった一日だけど、大切な一日について、とってもすてきなスピーチをしてくださいました。私も一緒にその一日をたいけんしているみたいにドキドキしました！
- ・来日早々、日本の時間のきびしさを体験してしまったのですね。その後、自分の力で沖縄まで行ったのはすばらしいです。
- ・一万円以上のタクシー代痛みましたね～。すべての体験は思い出になります。楽しく拝聴しました。
- ・はつおんがよくてわかりやすい。わたしもまだ知らないひととにほんごではなすのががてです。
- ・ほんとうにたいへんでしたね。そんななか、かんしゃのきもちをもっているクマルさんはすてきだと思います。

